

令和 7 年度 事業報告

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

人口減少と少子高齢化が進展する我が国において、高齢者の一層の活躍が期待されているなか、公益社団法人 全国シルバー人材センター事業協会では令和 7 年度から令和 12 年度までの 6 年間で全国の会員数を 10 万人超純増させることを新たな目標として掲げ、高齢者にとって魅力あるセンターづくりを目指す取り組みが進められています。

経済情勢としては、物価高騰の長期化や実質賃金の低迷により個人消費が伸び悩むとともに、中小企業においては人手不足やコスト増加が経営を圧迫するなど、依然として厳しい状況が続いています。

こうした状況下にあっても、当シルバー人材センターでは会員数・契約金額ともに中期計画の目標値を超えた実績を残すことができました。

今年度の事業活動としましては、昨年度同様に適正就業の推進により派遣就業へと変更する企業があり、請負の事業実績では就業延人員は 3,015 人日減少しましたが、契約金額は 12,709,160 円増額となりました。派遣の事業実績は就業延人員が 2,714 人日増加、契約金額も 25,975,671 円増額しました。

生きがい支援という面では、平成 31 年 3 月に完成したシルバーサロンをフルに活用し、各委員会、フレイル予防教室などを開催しました。

また会員増強を目的とした独自事業（植物事業「銀の園芸」）を開始し、市内・外で行われたイベント等で観葉植物を販売したところ好評を博しました。

互助会ではボウリング大会やグラウンドゴルフ大会、日帰りバス旅行、互助会文化祭を実施し、会員の親睦交流や福祉の向上に貢献しました。

今後においてもこれまで以上に会員の生きがい就労や地域活性化を目的に活動してまいります。

事業概要等の詳細については、以下のとおり報告いたします。

I 事業の概要

1. 会員数

本年度末の会員数は正会員 1,027 人、特別会員 2 人、合わせて 1,029 人（男性 680 人、女性 349 人、令和 8 年 3 月 31 日現在）で、前年度比 27 人の増（前年度比 102.7%）となりました。

加須市の 60 歳以上の人口（令和 8 年 3 月 31 日）は、42,546 人（男性 20,032 人、女性 22,514 人）であり、センターへの入会率は 2.42%（前年度比 0.07 ポイント増）となりました。

2. 就業状況

本年度の請負による就業状況は、年間受託件数 5,222 件で就業実人員は 681 人となり、就業延日人員は 76,524 人日（前年度比 3,015 人日減）で月平均では 6,377 人日となりました。

契約先別事業実績は、年間実績額 456,114,301 円（前年度比 102.87%）で、このうち公共機関からの受注は 184,825,882 円で全体の 40.5%、民間企業・独自事業は 186,198,280 円で 40.8%、個人家庭は 85,090,139 円で 18.7%となりました。

また、配分金については、年間 369,709,298 円、月平均 30,809,108 円となりました。

派遣による就業状況は、年間受注件数は 156 件で就業実人員は 281 人となり、就業延日人員は 29,420 人日、年間実績額（契約金額）では、192,853,211 円（前年度比 224.7%）となりました。

請負と派遣を合わせた契約金額は 648,967,512 円（前年度比 106.34%）となりました。

また、請負と派遣を合わせた就業率は 85.2%と依然として高水準を維持しています。

3. ふるさと空家管理事業実績

国の補助事業として、平成 28 年度から始まった地域就業機会創出・拡大事業に当センターは、ふるさと空家管理事業を提案し、採択されました。

この事業では、加須市・加須市商工会と協定書を締結し、空き家の適正管理（見回り目視点検、除草、植木の剪定等）をすることで会員の就業機会の拡大に結びつけることができました。国の補助事業としては平成 30 年度に最終年度を迎えましたが、これまで同様、市等と共同し、空家の適正管理と就業の拡大を図ってまいりました。

分類別実績では、空き家管理の就業延人員 1,033 人日、年間実績額（契約金額）7,648,075 円（前年度比 74.6%）となり、空き地管理の就業延人員 1,160 人日、年間実績額（契約金額）8,874,367 円（前年度比 131.09%）となりました。

4. フレイル予防教室への取り組み

県の補助事業として、平成 29 年度シルバー人材センター魅力向上事業に健康づくりサポーター養成事業を提案し採択され、東京都健康長寿医療センター研究所から「虚弱予防プログラム」を学び、「健康づくりサポーター」を養成しました。令和 7 年度はフレイル予防教室を 281 回開催し、延べ 3,602 人参加しました。

II 事業の実施状況

1. 中・長期基本計画の推進

各施策を継続的かつ着実に推進していくために各種委員会を開催し、そこで提案された件について役員会、理事会に諮り事業を進めてきました。

2. いきいきと元気で働く仲間づくり（会員の増強）

（1）独自・新規事業の展開による、会員活躍の場の拡充

- ①フレイル予防教室(令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月実施:計 281 回、延べ 3,602 人参加)
- ②植物事業「銀の園芸」(令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月実施:計 7 回、延べ 45 人就業)

（2）普及啓発活動

- ・シルバーかぞの年 2 回発行（10 月、2 月）
- ・会員通信の月 1 回発行
- ・いきいき埼玉による会員確保支援事業を活用し、20,000 部の会員勧誘チラシを各家庭に配布した。（1 月）

- ・地域清掃ボランティア活動の実施（ゴミ拾い）

【日時】12月6日（土） 午前8時00分～9時30分

【実施場所】

加須地域 本部事務所～加須市役所（やぐるま街道歩道）

騎西地域 JAほくさい騎西中央支店～けやき公園交差点（国道122号歩道）

大利根地域 カインズ大利根店～カスミフードスクエア（国道125号沿い）

北川辺地域 北川辺総合支所～開智未来高校（麦倉川俣停車場線歩道）

【参加者数】4地域合計 81名

3. 市民生活に深く根ざした仕事づくり （地域社会の活性化）

（1）独自・新規事業の展開

①ふるさと空家管理事業の推進（再掲）

事業名：地域就業機会創出・拡大事業※国補助（平成28年度～平成30年度）

②フレイル予防事業の推進

事業名：健康づくりサポーター養成事業（再掲）

③パソコン教室

④農作業支援事業 ⇒ 年間を通して実施

（2）派遣事業の推進

事業名：高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（再掲）

高齢者の雇用拡大や適性就業を推進するため請負就業に加え派遣事業を推進し、会員の希望に応じた就業場所の確保に努めてきました。

4. 安全・健康、笑顔で働く職場づくり （生きがい就労の追求）

（1）安全意識の徹底

安全管理委員会の充実を図り、毎月各地域の就業場所のパトロールや安全就業講習等を計画的に実施し傷害事故並びに賠償事故件数「ゼロ」を目指してきましたが、結果的には以下の件数になりました。

傷害事故10件（前年比3件増）、賠償事故19件（前年比4件増）

（2）適正就業の促進

「請負就業」「派遣就業」それぞれ適正な就業の促進に努めました。またローテーション就業を実施しました（令和8年3月）。

（3）健康管理の促進

令和8年2月に会員状況調査票を各会員に送付し、健康状態などを確認しました。また、市で実施している特定健康診査の受診を促しました。

（4）生きがい支援

会員の親睦交流や福利厚生向上を目的に互助会が発足され、サークルやイベントの活動が行われました。

- ・登山サークル
- ・囲碁・将棋サークル
- ・卓球サークル
- ・カラオケサークル
- ・二胡サークル（胡笑）
- ・社交ダンスサークル
- ・第9回ボウリング大会（12月）
- ・第9回グラウンドゴルフ大会（3月）

- ・ 互助会文化祭（11 月）
- ・ 慶弔見舞金の給付
- ・ 日帰りバス旅行（3 月）

5. 取り組みを支える基盤づくり （運営基盤の強化）

（1）組織体制の整備

7 つの委員会に理事、会員が構成員になり、それぞれの立場から意見を述べ、会員が運営するセンターづくりの意識を高めてきました。

- ・ 会員・就業拡大委員会
- ・ 女性活躍委員会
- ・ 安全管理委員会
- ・ 組織活性化委員会
- ・ 受注単価見直し委員会
- ・ 適正就業委員会
- ・ 施設整備計画検討委員会

また、令和 8 年 4 月からの各事務所の事務機能集約に向けた準備を進め、騎西・大利根・北川辺の各事務所の事務機能を本部事務所へ集約する体制整備を行いました。

これまで段階的に進めてきた各事務所の開所時間の見直しや現金取扱業務の廃止に加え、職員体制や業務内容の整理を行うことで、事務処理の効率化及び組織運営の強化に努めました。

なお、各地域の事務所につきましては、今後も会員の打合せや入会説明会、書類提出等の場として活用し、地域とのつながりを維持しながら事業運営を行ってまいります。

（2）財政基盤の強化

- ・ 事業内容及び経常経費を見直し、経費節減に努めました。特に、従来からあった不良債権の回収に尽力しました。